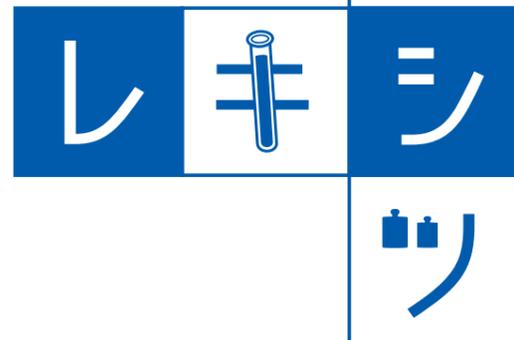




歴史×地質



次のことについての回答をお願いします。  
 回答は下のアンケート回答欄に記入して切り取り、  
 ポストへ投函してください。  
 送り方の詳細は前ページを参照ください。

交野を南北に真っすぐ流れる天野川。広報7月号ではそう紹介しましたが、大阪市立大学理学部附属植物園付近から生駒市との市境までの間は、打って変わって大きく蛇行する川になっています。今回は「蛇行する天野川」についての歴史×地質を紹介します。

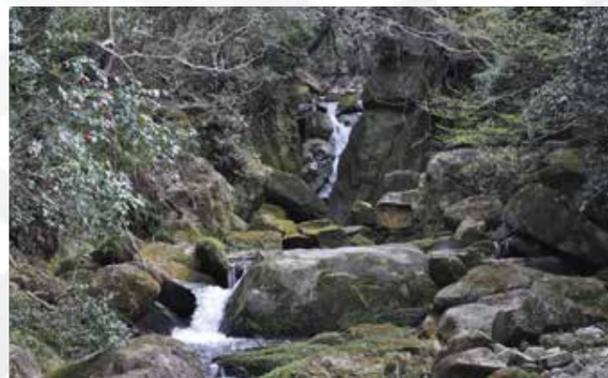
植物園付近から市境間の天野川は、山の間の深い谷地形の底を流れています。このような深い谷の中を蛇行状の川が流れる状態のことを地形用語で「穿入蛇行」と言います。穿入蛇行は、山ができる等の隆起する地盤の上に川が流れている場合、その川は隆起する地盤を削って流れながら、次第に強く曲がりくねるようになる作用により作られます。このことから、元々はこの地域の天野川も、真っすぐまたは緩やかな曲線の川であったものが、交野の山が作られる隆起に伴い、次第に自ら削って作った深い谷を蛇行する川になっていった

ものと考えられます。

穿入蛇行により作られた地形は、その景観から観光名所になることが多くあります。有名などころでは静岡県の大井川や高知県の四万十川などです。天野川のこの地形も「磐船峡」と呼ばれ、貴重な名勝として府の指定文化財になっています。

現在は川の横に沿って国道168号が整備され、かつての景観を見ることが難しくなっていますが、「鮎返しいわたがしの滝」付近には多くの巨石が転がり、峡谷の雰囲気が残っています。旧道が損なわれていて滝に近づけません。最近新たに眺望スポットが整備されて、見学しやすくなっています。

真っすぐな部分により天の川伝説の文化が作られ、さらに蛇行する部分により文化財にも指定される名勝が作られたのです。1本の川でも地質によりさまざまな文化が生まれることが分かります。



▲ 磐船峡(眺望スポットから見た鮎返しいわたがしの滝)



▲ 眺望スポット

アンケート回答欄

Q1 あなたの性別・年齢を教えてください。

- 男性 女性 (年齢: 歳)

Q2 あなたは広報紙をどのように管理していますか。

- 読み終わったら捨てる
- 次の号が届くまで保管する
- つつって長期保管する

Q3 2019年4月号からデザインをリニューアルし、文章を横書きが主となるよう変更しました。このことについてどう思いますか。

- すごく見やすくなった やや見やすくなった
- 変わらない やや見づらくなった
- すごく見づらくなった

Q4 リニューアル後のデザインや読みやすさ等について、ご意見・ご感想を教えてください。

---

---

---

---

---

Q5 今後、どのような情報を充実してほしいですか。(複数回答可)

- 市政 観光 まちづくり 防災・防犯
- 福祉 健康 子育て 教育
- 文化・スポーツ 環境 各種団体や人の紹介
- その他 ( )

Q6 特集やお知らせ以外のコーナーでどのコーナーを好んで読みますか。(複数回答可)

- まちフォト 今月のおすすめ本
- お家で作ろう学校給食メニュー
- ごみ捨てが変わる読んでもらう前と後
- 歴史×地質 そうだ、きさいち植物園に行こう!
- Instagram #タノシカタノシ写真紹介
- 塗り絵おりひめちゃん
- おいしいセイタカヨシに出会えるお店たち

Q7 広報かたのについて、ご意見・ご感想・ご提案などをご自由にお書きください。

---

---

---

---

---